

社会福祉法人 京都市山科区社会福祉協議会

平成27年度

事業報告書

I 総括	1
II 事業の概要	2
1 法人運営	2
2 企画広報事業	5
3 学区社会福祉協議会支援事業	17
4 ボランティアセンター事業	18
5 セーフティネット事業	25
6 ネットワーク支援事業	28

平成27年度 事業報告

I 総括

第3期地域福祉活動計画の基本目標に掲げた「生活課題の解決や孤立防止」に向け、多様な福祉課題に対応する活動の仕組みと拠点づくりを進めました。

関係者との連携・協働の推進では、学区社協活動交流会を地域福祉活動実践交流会に改称して、社協と民協の合同研修として開催しました。また、学区を基盤に連携・協働を進める地域福祉推進モデル事業は、小野学区で取り組んだ調査活動の結果をまとめた報告書を作成し、関係者との報告懇談会を実施しました。

山科区地域福祉推進委員会が進めるフリースペースは、1ヶ所増えて11ヶ所で開催しています。関係者が協働する拠点として、困りごとに相談対応できる体制の構築が進んでいます。

(1) 学区域を中心にした地域福祉活動の推進

- ・学区社協重点目標の推進に向けて、各学区の進捗を把握し、学区社協会長会議で共有しました。
- ・地域福祉推進モデル事業は、小野学区で取り組んだ調査活動の結果をまとめた報告書を作成し、関係者との報告懇談会を実施しました。
- ・機関誌「Be-Vo」で学区社協活動を周知しましたが、ホームページを活用した「見える化」には取り組めませんでした。
- ・学区社協活動交流会を地域福祉活動実践交流会に改称して、社協と民協の合同研修として開催しました。
- ・フリースペースが拠点となって、社会資源のネットワーキングが進みました。

(2) 山科の地域におけるボランティア活動の活性化

- ・ボランティア募集情報の発信にホームページを活用しました。
- ・各学区に区災害ボランティアセンターとの連絡担当を置き、学区の情報を把握する体制をつくりました。
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練において、在宅障がい者のニーズ把握訓練を社協と民協が連携して行いました。
- ・東日本大震災の避難者に対して、関係者とのネットワークによる支援を継続して行いました。

(3) 相談活動を通じたセーフティネットの取組強化

- ・日常生活自立支援事業の実働件数は、12件増加（契約29件、解約17件）し、70件となりました。
- ・生活支援員は、登録者の少ない学区に養成講座を広報し、11名増加して67名となりましたが、年度末の登録更新で定年等により20名減少し、47名となっています。

(4) ネットワーキングを通じた生活支援活動の充実

- ・生活支援サービス実態調査を実施し、訪問型・通所型のサービスを提供している団体の取組を把握し、関係を築きました。
- ・地域福祉推進委員会が進めるフリースペースは、1ヶ所増えて11ヶ所で開催しています。
- ・地域福祉推進委員会において、居場所活動関係者交流会を開催し、活動の活性化とネットワークづくりを進めました。
- ・地域あんしん支援で7ケースの寄り添い支援を行い、うち1ケースで生活状況が改善され、支援を終了しています。

II 事業の概要

1 法人運営

(1) 会議

理事会（1回）、評議員会（1回）、監事会（1回）の基本会議に加え、区社協の意志決定及び事業執行を組織的に行うために、正副会長会議（12回）、学区社協会長会議（6回）を定例で開催するとともに、組織、事業、財政強化のために、企画委員会（2回）、財務委員会（2回）を開催しました。

①正副会長会議

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 4 月 14 日（火）	区社協	1. 各事業報告 2. 第 1 回理事会・第 1 回評議員会について 3. 企画委員会・山科ボランティアセンター運営委員会・生活福祉資金貸付調査委員について 4. 平成 27 年度賛助会員募集活動について 5. その他 6. 当面のスケジュール
平成 27 年 5 月 12 日（火）	区社協	1. 各事業報告 2. 平成 26 年度事業報告・決算について 3. 第 1 回理事会・第 1 回評議員会について 4. 第 1 回学区社協会長会議について 5. その他 6. 当面のスケジュール
平成 27 年 6 月 9 日（火）	区社協	1. 各事業報告 2. 福祉基金の使徒の検討について 3. 第 1 回財務委員会について 4. 「京都市における社協行動指針 2015」について 5. 地域福祉活動実践交流会について 6. その他 7. 当面のスケジュール
平成 27 年 7 月 7 日（火）	区社協	1. 各事業報告 2. 地域福祉活動実践交流会について 3. 山科区災害ボランティアセンター設置運営訓練について 4. 第 21 回山科社会福祉大会について 5. 第 2 回学区社協会長会議について 6. 第 1 回企画委員会について 6. その他 7. 当面のスケジュール
平成 27 年 8 月 11 日（火）	区社協	1. 各事業報告 2. 山科区災害ボランティアセンター設置運営訓練について 3. 第 21 回山科社会福祉大会について 4. 第 1 回企画委員会について 5. その他 6. 当面のスケジュール
平成 27 年 9 月 8 日（火）	区社協	1. 各事業報告 2. 学区社協会長会議について 3. 山科社会福祉大会について 4. その他 5. 当面のスケジュール
平成 27 年 10 月 13 日（火）	区社協	1. 山科社会福祉大会について 2. 第 2 回理事会・第 2 回評議員会について 3. 学区社協重点目標の進捗状況について 4. その他 5. 当面のスケジュール
平成 27 年 11 月 10 日（火）	区社協	1. 市社協理事・評議員候補者の推薦について 2. 山科区社会福祉大会について 3. 第 2 回理事会・役員研修会・第 2 回評議員会の開催について 4. 学区社協会長会議について 5. その他 6. 当面のスケジュール

平成 27 年 12 月 3 日 (木)	区社協	1. 第 2 回理事会・役員研修会・第 2 回評議員会の開催について 2. その他 3. 当面のスケジュール
平成 28 年 1 月 18 日 (月)	区社協	1. 学区社協会長会議について 2. 健康すこやか学級事業 介護予防研修会について 3. その他 4. 当面のスケジュールについて
平成 28 年 2 月 9 日 (火)	区社協	1. 健康すこやか学級事業 介護予防研修会について 2. 事業計画 (素案) について 3. 平成 27 年度収入支出予算 (素案) について 4. その他 5. 当面のスケジュールについて
平成 28 年 3 月 15 日 (火)	区社協	1. 学区社協会長会議について 2. 第 3 回理事会・第 3 回評議員会について 3. 平成 27 年度第 2 次補正予算 (案) について 4. 平成 28 年度事業計画 (案) について 5. 平成 28 年度収入支出予算 (案) について 6. その他 7. 当面のスケジュールについて

②理事会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 26 日 (火)	区社協	【第 1 号議案】 評議員の補充選任に関する件について 【第 2 号議案】 顧問の委嘱に関する件について 【第 3 号議案】 参与の委嘱に関する件について 【第 4 号議案】 平成 26 年度事業報告に関する件について 【第 5 号議案】 平成 26 年度一般会計収入支出決算に関する件について —監査報告— 【第 6 号議案】 職員給与規定の改正に関する件について
平成 27 年 12 月 17 日 (木)	区社協	【第 1 号議案】 平成 27 年度上半期事業報告に関する件について 【第 2 号議案】 平成 27 年度資金収支第 1 次補正予算に関する件について 【第 3 号議案】 評議員の補充選任に関する件について 【第 4 号議案】 特定個人情報保護規程の制定に関する件について
平成 28 年 3 月 28 日 (月)	区社協	【第 1 号議案】 会員規程の改正に関する件について 【第 2 号議案】 部会規程の改正に関する件について 【第 3 号議案】 理事の選任に関する規程の改正に関する件について 【第 4 号議案】 評議員の選任に関する規程の改正に関する件について 【第 5 号議案】 事務局長等専決規程の改正に関する件について 【第 6 号議案】 入会に関する件について 【第 7 号議案】 平成 27 年度資金収支第 2 次補正予算に関する件について 【第 8 号議案】 平成 28 年度事業計画に関する件について 【第 9 号議案】 平成 28 年度資金収支予算に関する件について

③評議員会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 29 日 (木)	区社協	【第 1 号議案】 平成 26 年度事業報告に関する件について 【第 2 号議案】 平成 26 年度一般会計収入支出決算に関する件について
平成 27 年 12 月 17 日 (木)	区社協	【第 1 号議案】 平成 27 年度上半期事業報告に関する件について 【第 2 号議案】 平成 27 年度資金収支第 1 次補正予算に関する件について
平成 28 年 3 月 28 日 (月)	区社協	【第 1 号議案】 会員規程の改正に関する件について 【第 2 号議案】 平成 27 年度資金収支第 2 次補正予算に関する件について 【第 3 号議案】 平成 28 年度事業計画に関する件について 【第 4 号議案】 平成 28 年度資金収支予算に関する件について

④監事会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 15 日 (金)	区社協	1. 平成 26 年度事業監査について 2. 平成 26 年度会計監査について 3. その他

⑤学区社協会長会議

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 21 日 (木)	区社協	1. 平成 27 年度主要事業について 2. 京都市総合防災訓練 3. 第 21 回山科社会福祉大会 4. 平成 27 年度賛助会員の募集について 5. その他
平成 27 年 7 月 16 日 (木)	区社協	1. 平成 27 年度主要事業について 2. 地域福祉活動実践交流会 3. 山科区災害ボランティアセンター設置運営訓練 4. 第 21 回山科社会福祉大会 案内方法について 5. その他
平成 27 年 9 月 25 日 (木)	区社協	1. 地域福祉活動実践交流会振り返りについて 2. 第 21 回山科社会福祉大会について 3. その他
平成 27 年 11 月 19 日 (木)	区社協	1. 第 21 回山科社会福祉大会について 2. 市老協施設との連携促進について 3. 学区重点目標の進捗状況について 4. その他
平成 28 年 1 月 22 日 (木)	区社協	1. 健康すこやか学級事業 介護予防研修会 (素案) について 2. 学区社協活動総合推進事業報告書 様式の変更について 3. 賛助会費の募集強化について 4. その他
平成 28 年 3 月 17 日 (木)	区社協	1. 平成 28 年度事業計画 (案) について 2. 平成 28 年度収入支出予算 (案) について 3. 新地域の絆づくりモデル事業について 4. 平成 28 年度学区社協活動総合推進事業助成要綱について 5. その他

⑥企画委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 25 日 (火)	区社協	1. 社協をめぐる動向について 2. 山科区社協会長表彰審査について 3. 第 21 回山科社会福祉大会について 4. 平成 27 年度役員研修会について 5. 区ボランティアセンター事業について 6. 災害ボランティアセンター設置運営訓練について 7. 生活福祉資金貸付の動向について 8. 主要事業・会議等日程
平成 28 年 2 月 25 日 (木)	区社協	1. 第 3 期山科区地域福祉活動計画推進進捗について 2. 平成 28 年度事業計画 (素案) について 3. 生活福祉資金現況について 4. その他 5. 当面のスケジュール

⑦財務委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 6 月 25 日 (木)	区社協	1. 共同募金配分金による事業助成の審査について 2. 共同募金配分金助成金交付説明会について 3. 福祉施設事業助成要綱の改正 (案) について 4. 主要事業・会議等日程
平成 28 年 2 月 29 日 (月)	区社協	1. 平成 27 年度賛助会費の募集状況について 2. 平成 28 年度共同募金配分金について 3. 福祉施設事業助成要綱について 4. 平成 28 年度事業計画および入支出予算 (素案) について 5. その他

i 助成金交付説明会

助成金の使途の明確化と活動の活性化を目的に、赤い羽根共同募金を財源とする助成交付を受けた福祉関係団体、ボランティアグループ、福祉施設を対象に助成金交付説明会を開催し、共同募金運動をめぐる全国的な動向と現状、配分の趣旨について説明するとともに、趣旨に沿った活用と受配者自身の運動への参画を働きかけました。参加は28団体でした。

日程	場所	内容・検討事項
平成27年7月28日(火)	区社協	1. 助成金使途説明 各団体 2. 助成金交付

⑧ 苦情対応委員会

苦情解決規則に基づき苦情受付窓口を設置し、必要に応じて苦情対応委員会を開催できるよう体制を整えました。

(2) 賛助会員の募集

区民より賛同を得て会費という形で協力していただきました。賛助会費は福祉活動を支える大きな財源であると同時に、区・学区社協活動に対する期待の表れでもあります。今後、多くの区民より協力を得られるような働きかけを行い、またそれらの期待に応える活動を積み重ねていくことが求められます。

山科区社会福祉協議会賛助会費(単位:円)

学区	賛助会費実績	学区	賛助会費実績	学区	賛助会費実績
勸修	1,083,500	陵ヶ岡	694,800	小野	1,282,400
山階	950,900	大宅	685,600	音羽川	1,444,500
鏡山	975,300	山階南	1,287,200	西野	600,000
音羽	797,500	百々	927,200	事務局	330,000
安朱	955,500	大塚	1,211,000	合計	13,225,400

(3) 諸規程の整備・適正運用

組織運営に関わる諸規程の改正を行い、適正に運用しました。

2 企画広報事業

(1) 地域福祉活動の推進

① 第3期山科区地域福祉活動計画の推進・進行管理

i 地域福祉活動計画推進会議

行政、専門機関、関係団体、福祉施設等による地域福祉活動計画推進会議を行い、地域福祉推進モデル事業を進めるため、生活問題や社会的孤立防止に向けた取組を実施しました。

開催年月日	場所	内容
平成28年2月15日(月)	区社協	1. 第3期山科区地域福祉活動計画の進捗について 2. 地域福祉活動推進モデル事業について ①大塚学区社会福祉協議会 ②小野学区社会福祉協議会 3. ネットワーク支援体制 4. 意見交換 5. その他

ii 関係者懇談会(小野学区)

地域福祉推進モデル学区に指定した小野学区において、平成26年度末に行ったアンケート調査を集計し、報告書にまとめました。その結果を踏まえ、学区社協、自治連、町内会長、福祉委員対象にアンケート報告懇談会を開催し、意見交換を行いました。参加者は16名でした。

開催年月日	場所	内容
平成28年2月26日(金)	小野小学校	1. 地域福祉推進モデル事業について 2. アンケート調査結果報告 3. 意見交換

②山科区地域福祉推進委員会への参画

山科区地域福祉推進委員会の事務局として、作業部会（2回）と委員会（2回）を開催しました。

i 山科区地域福祉推進委員会 作業部会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 18 日（月）	区社協	1. 平成 26 年度山科区地域福祉推進委員会振り返りについて 2. 平成 27 年度地域福祉推進委員会の事業について 3. その他
平成 27 年 10 月 26 日（月）	区社協	1. フリースペース上半期報告について 2. 平成 27 年度「山科区の地域福祉を考える集い」について 3. 地域福祉推進委員会について 4. その他

ii 山科区地域福祉推進委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 6 月 8 日（月）	区社協	1. 各委員の自己紹介 2. 平成 26 年度事業報告及び決算の報告 3. 平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案）の承認 4. 平成 27 年度シンポジウムの内容について 5. 各地域福祉推進委員の地域における活動報告と意見交換
平成 27 年 11 月 20 日（金）	区社協	1. 平成 27 年度上半期事業報告 2. 第 2 回作業部会の報告 3. 平成 27 年度「山科区の地域福祉を考える集い」について 4. 各地域福祉推進委員の地域における活動報告と意見交換

iii 山科区の地域福祉を考える集い

「山科区の地域福祉を考える集い」では、フリースペースの実践報告を紹介し、居場所を拠点としたネットワーク活動の広がりを知っていただきました。後半では、参加者同士が懇談をしながら、居場所づくりのさらなる充実ならびに居場所を拠点とした新しい活動の可能性について専門機関等を交えて検討し、今後の展望について共有しました。参加者は 142 名（内訳：学区社協・民協・老福 77 名、専門・関係機関 29 名、NPO・活動グループ団体 4 名、一般 3 名、委員会員 19 名、事務局 10 名）でした。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 2 月 17 日（水）	東部 文化会館	テーマ：「居場所」で見える連携・協働のかたち 講演・コーディネーター： 山科醍醐こどものひろば 理事長 村井琢哉 氏 発表者： ふれあいスペース絆：大塚学区社会福祉協議会 社会福祉法人緑寿会特別養護老人ホーム山科苑 京都市立東総合支援学校 追加報告： 百々学区社会福祉協議会：百々学区社会福祉協議会 京都橘大学看護学部 みんなの家大宅：大宅学区社会福祉協議会 東部障害者地域生活支援センター「らくとう」 居場所・井戸端：小野学区社会福祉協議会 京都市小野児童館 グループ討議・意見交換 テーマ：「居場所」があるから繋がれそうなこと。 講演や事例報告を聞いて、自分にもできそうだと感じたこと。

iv 山科区内「居場所」活動関係者交流会

29ヶ所の「居場所」および5ヶ所の「居場所」活動関係者に案内し、13ヶ所の「居場所」および4ヶ所の「居場所」活動関係者、地域福祉推進委員会作業部会員3名、事務局の合計33名で交流会を実施しました。その後も、連携していきたい29ヶ所の「居場所」活動関係者で折り紙講習の交流会を開催し、31名が参加し、親睦を深めました。

また、「居場所」活動関係者間でのつながり強化と、連携しての広報を目的に、「山科区の居場所」一覧表を作成し、関係者、地域包括支援センター等に配布しました。「山科区の地域福祉を考える集い」の場でも資料として配布しました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 21 日 (金)	区社協	1. 各所での活動紹介、自己紹介 2. 交流・親睦会
平成 27 年 11 月 4 日 (水)	区社協	1. クリスマスツリーをつくろう 2. 交流・親睦会

v 「フリースペース みんなの家★山科」の取組

誰もが社会的に孤立した状態に陥りやすい状況にあり、虐待や自死・孤独死等の問題に直結しかねない懸念を予防し、山科区民のボランティア力と障がい者や高齢者等の活躍の場を生み出し、安心安全の福祉のまちづくりを推進することを目的として、地域福祉関係者の連携・協働により進めました。

参加者もスタッフも専門機関もお互いに居場所の一部であり役割を担いつつ集う場となり、顔見知りが増えた集いの場で、ゆるくみんなでお互いに見守り、必要に応じ専門機関が相談に入ることもできる“安心の場”にもなっています。各所で個性ある取組が進められました。

フリースペース実施場所

実施場所	日時
山科醍醐こどものひろば (山科区竹鼻堂ノ前町 18-1)	毎月 第1・3・5月曜日 午後1時 ～ 午後4時
山科総合福祉会館 (山科区西野大手先町 2-1)	毎週 水曜日 午前10時 ～ 午後4時
笑顔とふれあいの家みささぎ「みささぎ」 (山科区御陵原西町 42)	毎週 水曜日 午後1時 ～ 午後4時
東総合支援学校「ふれあいスペース絆」 (山科区大塚高岩)	毎週 火曜日 午前10時 ～ 午後4時
みちくさの家「百々学区社会福祉協議会」 (山科区川田清水焼団地町 6 番地 2)	毎月 第2木曜日 午後1時30分～午後3時30分
るまんやましな「みんなの家大宅」 (山科区東野門口町 1-2)	毎月 第3火曜日 午前10時 ～ 午後15時
「絆ひろば」 (山科区東野八代 10 山階南小学校内)	毎月 第2金曜日 午前9時 ～ 午前12時
「アルモンデ」 (山科区上野御所ノ内町 46 安朱自治会館)	毎月 第3月曜日 午後1時 ～ 午後4時
小野児童館「居場所・井戸端」 (山科区小野蚊ヶ瀬町 15 番地)	毎月第2土曜日 午前10時15分～午前11時45分
デイサービスすばる勸修寺「居場所・井戸端」 (山科区勸修寺瀬戸河原町 161)	奇数月第2土曜日(12月～3月休み) 午前10時15分～午前11時45分
音羽リハビリテーション病院「“絆” at おおつか」 (山科区小山北溝町 32-1)	毎月 第3土曜日 午後2時 ～ 午後4時

フリースペース実績

項目	場所	山科醍醐こどものひろば 「こどものひろば」 (山階学区)	山科総合福祉会館 「山科総合福祉会館」 (山階学区)	笑顔とふれあいの家みささぎ 「みささぎ」 (陵ヶ岡学区)
開催日時 実施回数 時間 特徴		毎月第1・3・5週(月) 24回 13:00~16:00 こじんまり静かに過ごせる	毎週(水) 48回 10:00~16:00 広くて溶け込み易い 男性も集いやすい	毎週(水) 47回 13:00~16:00 アットホームに皆で集える
定例企画			第1週 AM はげましの会 野菜販売 年3回 橘大学健康相談	第1週上映会 第3週おたのしみ企画
	高齢者	3名	2,066名	8名
	障害者	33名	18名	45名
	大人	15名	63名	3名
	小人	0名	22名	0名
延べ利用者合計		51名	2,169名	56名
	ボランティア	0名	296名	54名
	専門機関	31名	110名	7名
延べスタッフ合計		31名	406名	61名
成果		コミュニケーションが苦手、話し相手が欲しくて通う人が定着している。	東総合支援学校の生徒が就労訓練社会参加の目的で参画してもらえるようになった。橘大学の健康相談で初めて足を運ぶ人が増えた。	周辺の戸別訪問、周辺の居場所活動との情報交換により居場所のあり方を再検討できた。施設と地域の協働で参加者を増やす計画が進められた。

項目	場所	東総合支援学校 「ふれあいスペース絆」 (大塚学区)	みちくさの家 「百々学区社会福祉協議会」 (百々学区)	るまんやましな 「みんなの家大宅」 (大宅学区)
開催日時 実施回数 時間 特徴		毎週(火) 50回 10:00~16:00 地域主体の運営	毎月第2(木) 12回 13:30~15:30 地域主体の運営	毎月第3(火) 12回 10:00~15:00 地域主体の運営
定例企画		1・3週 AM 健康体操・高齢者相談 2・4週 AM 健康体操 4週コンサート・山科苑交流 野菜販売	軽い体操、折り紙 脳年齢チェック 年3回橘大学健康相談	惣菜パン、野菜販売、挽きたて豆のコーヒー 隔月障害者支援センター相談 窓口開設
	高齢者	1,052名	154名	103名
	障害者	7名	0名	36名
	大人	30名	16名	55名
	小人	0名	0名	1名
延べ利用者合計		1,089名	170名	195名
	ボランティア	219名	69名	68名
	専門機関	221名	29名	18名
延べスタッフ合計		440名	98名	86名
成果		東総合支援学校の生徒が就労訓練社会参加の目的で参画、近隣特養から利用者職員が出向いて参加等地域の社会資源との連携が進んだ。	橘大学の健康相談のイベントを中心に周知も高まり、利用者も定着してきた。	障がい者施設との協働で居場所を作れた。カウンター越しに悩みを聞いたり皆で笑ったり馴染の喫茶店に集うような集いの場ができた。

項目	場所	「絆ひろば」 (山階南学区)	「アルモンデ」 (安朱学区)	小野児童館 「居場所・井戸端」 (小野学区)
開催日時 実施回数 時間 特徴		毎月第2(金) 12回 9:00~12:00 地域主体の運営	毎月第3(月) 9回 13:00~16:00 地域主体の運営	毎月第2(土) 冬期除く 7回 10:15~11:45 地域主体の運営
定例企画		折り紙、お手玉、歌	折り紙、小物作り	昔遊び、ゲーム、工作
	高齢者	138名	80名	4名
	障害者	15名	0名	0名
	大人	0名	28名	21名
	小人	3名	0名	80名
延べ利用者合計		156名	108名	105名
	ボランティア	115名	46名	17名
	専門機関	22名	4名	15名
延べスタッフ合計		137名	50名	32名
成果		口コミや友達を誘う等で参加者が増え、居場所として定着してきた。	消防や警察の情報提供、参加者が企画を持ち込む等内容の更なる充実が図られた。	世代間交流の楽しい場となりつつある。

項目	場所	デイサービスすばる勸修寺 「居場所・井戸端」 (小野学区)	音羽リハビリテーション病院 「“絆” at おおつか」 (大塚学区)
開催日時 実施回数 時間 特徴		隔月第2(土) 冬期除く 4回 10:15~11:45 地域主体の運営	毎月第3(土) 1回 14:00~16:00 地域主体の運営
定例企画		レクリエーション	健康講座、音楽療法
	高齢者	23名	70名
	障害者	0名	0名
	大人	31名	0名
	小人	0名	0名
延べ利用者合計		54名	70名
	ボランティア	9名	5名
	専門機関	12名	13名
延べスタッフ合計		21名	18名
成果		デイサービスの利用者とのレクや会話、入浴も含め楽しまれている。	病院を会場にした居場所で新たな参加者層の発掘や連携の仕方が試行されている。

③山科区基本計画推進会議及び山科区行政推進会議への参画

区民・関係者の共汗・協働により山科区基本計画を推進する「山科区民まちづくり会議」に参画しています。

また、山科区の行政関係機関で構成する山科区行政推進会議（「文化・教育・福祉部会」所属）に参画し、行政との連携を進めています。

(2) 啓発事業の実施

①第21回 山科社会福祉大会の開催

福祉功労者への顕彰と福祉関係者の連帯を広げることと、地域福祉への関心を深めていただくために山科社会福祉大会を開催しました。約250名に参加いただき、行政、福祉関係機関・団体、地域住民が一堂に会し、地域のつながりを再構築し、住民主体の福祉のまちづくりを推進していくことを改めて決意する場となりました。

[日時]	平成27年11月21日(土) 14:00~16:30
[会場]	ホテルブライTONシティ京都山科 3階 大会場「山科」
[顕彰]	表彰 48名/2団体 感謝状 1名/12団体
[内容]	第1部 式典 第2部 記念講演 演題 「まちを元気にする防災活動のヒント」 講師 室崎友輔 氏 (NPO 法人プラス・アーツ チーフスタッフ・防災士)

(3) 高齢者福祉事業

①山科区在宅サービス実務者会議への参画

区内の居宅支援事業所を中心とした実務者の会議に、山科・介護者の会「はげましの会」の参画を促し、広報紙の配布での周知に努めました。

②山科区地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センター運営協議会(2回)、運営会議(9回)に参画しました。また、学区ごとに開催される地域ケア会議(11学区24回)日常生活圏域地域ケア会議(5圏域7回)のほか、権利擁護ネットワーク会議(2回)、認知症ネットワーク会議(1回)、山科区地域ケア会議あり方検討会(2回)に参加しました。

③山科・介護者の会「はげましの会」活動充実の支援

山科・介護者の会「はげましの会」への支援として、世話人会への助言と情報提供を行いました。会員数は55名(平成28年3月31日現在)です。

「はげましの会」では、介護者が集う機会を毎月企画し介護者の仲間づくりを進めるとともに、広報紙の発行、誕生日カード・プレゼントの送付し交流を図るなど、介護者が一人で抱え込まないような取組を実施しました。

i 公開講演

今年度は20周年を迎え、20周年記念総会での公開講演を開催しました。42名が参加されました。

開催年月日	場所	内 容
平成27年6月11日(木)	魚善	1. コントラバスで歌いましょう 山科苑 副施設長 岸田光彦 氏 2. 「介護保険大改定と介護者の会にもとめられるもの」 立命館大学 教授 津止正敏 氏

ii 公開講座

公開講座は、「知ってる?あんなデイ、こんなデイ」をテーマに、介護者にとどまらず関心のあるたくさんの方々も参加される学習の場を企画しました。35名が参加されました。

開催年月日	場所	内 容
平成27年11月7日(土)	区社協	テーマ:「知ってる?あんなデイ、こんなデイ ~行きたい通所系サービスを選ぶために~」 1. 事業所よりの事業紹介 2. 小グループにての説明・相談会

④認知症への理解促進の取組

ボランティアグループ連絡会、山科中央老人福祉センター、居場所活動等で活動中のボランティアに対して「認知症あんしんサポーター講座」を開催しました。

(4) 障がい者福祉事業

①山科区障害者福祉サービス実務者会議への参画

山科区内の障がい者の地域生活を支援する実務者レベルのネットワークを強化する目的として参画し、実行委員として取組を協しました。

i 障害者福祉サービス実務者会議 実行委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 4 月 30 日 (木)	区社協	1. 平成 26 年度の振り返り 2. 平成 27 年度について 3. その他
平成 27 年 10 月 16 日 (金)	区社協	1. 平成 27 年度上半期の振り返り 2. 平成 27 年度下半期について 3. その他
平成 27 年 12 月 8 日 (火)	区社協	1. 平成 27 年度実務者会議の振り返り 2. 平成 27 年度実務者会議実績 3. 平成 28 年度について 4. その他

ii 障害者福祉サービス実務者会議

今年度は京都市総合防災訓練が山科区で開催され、区災害ボランティアセンター設置運営訓練では、地域住民による障がいのある要援護者へのニーズの訪問ききとり訓練も行われたこの機会に、区内の実務者も区の災害時の動きを知り、「災害時に求められる障がい者支援について」を考え、備えのための連携の仕方等を協議する場となりました。9 事業所 13 名の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 11 月 12 日 (木)	区社協	1. 区の災害時の動きについて (山科区役所) 2. 福祉避難所の災害時の動きについて (山科身障会館) 3. 区災害ボランティアセンターの災害時の動きについて (山科区社協) 4. 意見交換「災害時の求められる障がい者支援について」

②山科区障害者福祉サービス実務者研修会の実施

新しいコミュニケーションツールとして、また学校卒業後も切れ目のない支援実現の一策として研修会を開催しました。12 事業所 19 名の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 7 月 13 日 (月)	東総合支援学校	1. 東総合支援学校高等部見学 2. ICT (情報通信技術) 研修

③京都市東部障害者地域自立支援協議会への参画

今年度より協議会に参画し、全体会議 (1 回)、運営会議 (3 回) に出席しました。

i 東部障害者地域自立支援協議会 全体会議

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 26 日 (水)	東山区総合庁舎	1. 平成 26 年度事業報告 2. 平成 26 年度決算報告 3. 監事監査報告 4. 平成 27 年度運営会議メンバーの紹介 5. 平成 27 年度事業計画 6. 平成 27 年度専門部会事業計画 7. 平成 27 年度予算

ii 東部障害者地域自立支援協議会 地域懇談会

協議会の圏域である東山区、山科区、伏見区醍醐地域合同での「地域懇談会」を実施しました。今回は「障がいのある方の災害時の支援を考える」をテーマに、災害時に障がい者がどんなことに困るのかを考える内容で開催しました。当日は、障がい児者関係施設、事業所、学区社協関係者、民生児童委員等 65 名の参加がありました。具体的に場面を想定して共に考えることで、より一層地域での障がいに対する理解を深め、地域生活や災害時における助け合いの必要性が確認されました。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 3 月 1 日 (火)	醍醐 総合庁舎	テーマ：「障がいのある方の災害時の支援を考える」 第 1 部 障がいのある方の地域生活とは（専門職からの発信） ・知的障がいのある方の生活について：支援センターらくとう ・身体障がいのある方の生活について：支援センターだいご ・精神障がいのある方の生活について：からしだねセンター ・障がいのある児童の生活について：南山城学園 第 2 部 意見交換 ・災害がおこった時にどんなお困りごとがあるのか皆で話しあおう

④山科こころの健康を考える会への参画

精神保健福祉の推進団体により組織されている「山科こころの健康を考える会」に、幹事団体として参画しました。

i こころの健康を考える会 幹事会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 4 月 22 日 (水)	区役所	1. 役員の改選 2. 平成 26 年度事業報告について 3. 平成 27 年度事業計画 (案) について 4. その他

ii こころの健康を考える会 総会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 27 日 (水)	区役所	1. 構成団体代表者の変更について、役員の改選について 2. 平成 26 年度事業報告について 3. 平成 27 年度事業計画について 4. その他

iii 第 16 回 山科こころのふれあい夏まつり

精神に障がいのある人と地域住民との交流を目的として実施しました。一般 139 名を含む 367 名の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 5 日 (水)	アスニー 山科	・オープニングイベント「京炎そでふれ」 ・リレートーク（施設紹介） ・各事業所による展示・販売 ・ゲーム、缶バッチ作り、アロマ、スタンプラリー ・パネル展示 施設紹介 ・「もてなすくん」がやってくる！

iv 精神保健福祉シンポジウム

最新の精神保健福祉動向と、当事者や支援者の声を通して、こころの病のある人が安心して地域で暮らせるまちづくりへの理解を深めました。97 名の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 2 月 10 日 (水)	アスニー 山科	テーマ：「地域で共に生きる」 一部 講演「発達障害について」 講師：龍谷大学 文学部 准教授 赤津玲子 氏 二部 シンポジウム「地域で共に生きる」 シンポジスト：当事者の母 デイサービス明日葉 ケア 2 1 訪問介護 南山城学園ショートステイ 障害者地域生活支援センターらくとう 発達障害者支援センターかがやき

v こころの健康サポーター講座の開催

こころの病のある人たちへの理解促進と支援する人材育成を目的として、こころの健康サポーター講座を開催しました。今回は民生児童委員と学区社協役員を対象に実施し、参加者は 1 回目 21 名、2 回目 16 名でした。施設見学には、6 名が参加されました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 10 月 19 日 (月)	区社協	講義：「こころの病気とは－病気の特性と接し方について－」 講師：精神科医 並河東明 氏 グループワーク
平成 27 年 10 月 30 日 (金)	施設見学	オリーブホットハウス
平成 27 年 11 月 9 日 (月)	区社協	当事者の話 事例紹介：「こころの病があっても地域で自分らしく暮らしています」 当事者、計画相談支援事業所、訪問看護、ヘルパー、作業所 グループワーク

⑤福祉施設事業助成

赤い羽根共同募金の配分金を財源として、福祉施設への事業助成を行いました。

福祉施設事業助成一覧 (単位：円)

作業所名	助成案件	決定額
山科工房	卓上型ショップシーラー	42,000
新明塾山科教室	プリンタ複合機	42,000
陽だまりクラブ共同作業所	更衣ロッカー	42,000
山科やすらぎの里共同作業所	FAX 機用インクボン、カープ リンタ用インカート	41,990
わかばグループホーム	自動火災警報装置	42,000
オリーブホットハウス	階段手摺	42,000
	6 施設 合計	251,990

(5) 子育て支援事業

①やましな子育て支援連絡会の運営

やましな子育て支援連絡会の事務局として事業運営に参画し、幹事会 (1 回)、代表者会議 (1 回) を開催しました。また、部会である「子育て支援部会」の会議 (5 回)、「発達支援部会」での研修等を実施し、関係機関での事業の具体化と情報共有を図りました。

i やましな子育て支援連絡会 幹事会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 4 月 28 日 (火)	区役所	1. 自己紹介 2. 『やましな子育て支援連絡会』 ①平成 26 年度事業報告について ②平成 27 年度事業計画 (案) について 3. その他

ii やましな子育て支援連絡会 代表者会議

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 6 月 19 日 (金)	区役所	1. 自己紹介 2. 『やましな子育て支援連絡会』 ①平成 26 年度事業報告について ②平成 27 年度事業計画 (案) について 3. 『京都市山科区要保護児童対策地域協議会』 ①設置運営要綱と守秘義務について ②京都市内の児童虐待相談・通告等について ③山科区の状況 4. 質疑応答・意見交換等

iii やましな子育て支援連絡会 研修会

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 27 年 10 月 27 日 (火)	区役所	テーマ：「人とのこころよい距離を学ぶ ～良好な対人関係を築くためのコツ～」 講師：徳永桂子 氏 (思春期保健相談士)	45 名

iv 子育て支援部会

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 11 日 (月)	区社協	1. 自己紹介 2. 平成 27 年度子育て支援部会の取り組みについて 3. 地域子育て支援ステーションについて 4. 1 歳半健診あそびのひろばについて 5. 情報交換 6. その他
平成 27 年 7 月 6 日 (月)	区社協	1. 平成 27 年度乳幼児親子支援の現状について 2. 1 歳半健診あそびのひろばについて 3. 情報交換 4. その他 ※その後、地域子育て支援ステーション説明会との 2 部構成
平成 27 年 9 月 28 日 (月)	区社協	やましなっこ広場企画運営会議におきかえて開催
平成 27 年 12 月 7 日 (月)	区社協	1. 平成 27 年度乳幼児親子支援の現状について 2. 1 歳半健診あそびのひろばについて 3. 情報交換 4. その他
平成 28 年 3 月 7 日 (月)	区社協	1. 平成 27 年度子育て支援部会のふりかえりについて 2. 1 歳半健診あそびのひろばについて 3. 情報交換 4. その他

※情報交換の内容

- ・各児童館での子育て支援の今年度新規取組や強化・重点目標等
- ・乳幼児対象の手遊びや企画等でとても好評だったもの
- ・子育て支援に関する地域での連携状況
- ・各児童館での子育て支援の今年度実績・次年度計画のトピックス

v 子育て支援部会 スキルアップ研修・事例検討会

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 27 年 11 月 2 日 (月)	区社協	事例検討会 「発達や情緒に課題を感じ特別な支援を要している親子へのより良い関わり方」 講師：岡崎達也 氏 (児童福祉センター発達相談課支援担当係長)	18 名

vi 発達支援部会 企画運営会議

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 18 日 (月)	区役所	1. 平成 26 年度第 2 回研修会のまとめ 2. 今年度の研修会の内容について 3. 情報提供 4. その他

vii 発達支援部会 研修会

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 27 年 7 月 13 日 (月)	区役所	情報提供とグループワーク ①「京都市拠点保育所が親子との関わりで大事にしていること」 京都市拠点保育所鏡山保育所 東雅美 氏 ②「つどいの広場 げんきスポット 0-3 での取組みについて」 山科醍醐こどものひろばげんきスポット 0-3 古谷能富子 氏 ファシリテーター 岡崎達也 氏 (児童福祉センター発達相談課支援担当係長)	45 名

②子育て支援情報の発信

子育て支援の情報提供をより充実させるために、「子ども支援センターだより」への情報提供の充実、ホームページからの発信と子育てアプリへの情報提供協力を実施しました。

対象者の情報入手の主流となってきている web での情報提供への移行も予定されていましたが、紙面での周知効果も大きいため「子ども支援センターだより」の紙面での情報提供の継続を決定しました。

③子育て支援ネットワークの強化

i 子育て支援ネットワークの再編

「京都市未来こどもはぐくみプラン」の策定に伴い、子育て中の家庭を支援するためのネットワークを整理・再編して、より充実した支援となるよう山科区役所福祉部支援課と協議を重ねました。

ii 子育て支援部会企画事業の見直し

今年度より地域子育て支援ステーション事業と活動者や開催時期の重複が生じたため、子育て講演会、親子交流事業は開催せず、やましなっこひろばの開催に統合しました。

iii あそぼランド（プール開放）の開催

法人内連携の一環として、山階児童館と山科老人デイサービスセンターと協働で乳幼児親子向けにプール開放を実施しました。35組75名の親子の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 1 日(土)～10 日(月)	山科老人デイサービスセンター中庭	プール開放

④障がい児の長期休み支援事業（あそびの広場）の実施

障がい児の余暇支援として、長期休み期間中の遊びの場を提供しました。総合支援学校や学区社協などの協力のもと、夏休みに3回、冬休みに1回、春休みに1回実施しました。のべ115名の親子が参加し、ボランティア56名の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 3 日 (月)	東総合支援学校	バーベキュー・プール・自由遊び 12組24名、ボランティア10名参加
平成 27 年 8 月 6 日 (木)	東総合支援学校	カレーライス・プール・自由遊び・かき氷作り 10組21名、ボランティア6名参加
平成 27 年 8 月 19 日 (水)	小野小学校	流しそうめん・うどん作り・プール・自由遊び 15組30名、ボランティア14名参加
平成 28 年 1 月 6 日 (水)	東総合支援学校	おもちゃつき・お正月遊び・パフェ作り・自由遊び 11組26名、ボランティア17名参加
平成 28 年 3 月 29 日 (火)	身障会館	お弁当作り・たこ焼パーティー・自由遊び 7組14名、ボランティア9名参加

⑤山科子育て応援団への支援

山科区内で活動する7つの子育てサークルのネットワーク「山科子育て応援団」では、親子での交流を大事にし、会議の開催や、サークル紹介リーフレットの作成、母親と子どもの仲間づくりを目的とした「子育てサロン」の開催等を支援しました。

子育てサロン

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 5 月 19 日 (火)	区社協	親子 DE フェスタ 11組参加 (大布バルーン・新聞紙あそび・繋がりあそび・おしゃべりタイム)
平成 27 年 6 月 24 日 (水)	区社協	コマがいっぱい 9組参加 (いろんなコマであそぼう・エコで簡単なコマ作り)
平成 27 年 8 月 26 日 (水)	区社協	布絵本でどんなの！ 13組参加 (いろいろな布絵本を楽しむ・ハンカチ遊びの伝授)
平成 27 年 10 月 28 日 (水)	区社協	積み木遊び 7組参加 (積み木にもいろいろあるね・何ができるかな)
平成 27 年 12 月 19 日 (金)	区社協	サンタさんと、あ・そ・ぼ！ 30組参加 (みんなでクリスマスを楽しもう！)
平成 28 年 2 月 20 日 (金)	区社協	乗り物いっぱい 10組参加 (おもちゃの車・電車がいっぱい！走らせてみよう 走らせよう)

(6) 調査研究事業

①基礎調査の実施

学区社会福祉協議会、当事者団体、ボランティアグループの基礎調査を実施しました。

(7) 福祉情報流通事業

①機関誌「Be-Vo」(ビーボ)の発行

機関誌「Be-Vo」は、事業計画特集号、ユースアクション特集号、第29号、第30号を発行し、事業の広報を行いました。事業計画特集号では区・学区社会福祉協議会活動等を紹介し、賛助会費の使途、区社協予算について報告を行いました。

号	内 容
第29号	<ul style="list-style-type: none"> ・山科区災害ボランティアセンター設置運営訓練 ・地域福祉活動実践交流会 ・山科区ボランティアセンターだより (ユースアクション2015/ボランティアグループ連絡会/ボランティア講座) ・平成26年度決算報告 ・共同募金配分金助成金交付説明会 ・チャリティBOX
第30号	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福推進モデル事業(小野学区) ・日常生活自立支援事業 生活支援員交流会 ・介護者の会 公開講座 ・第21回 山科社会福祉大会 ・山科子育て応援団 ・山科区ボランティアセンターだより(ボランティアグループ連絡会加入グループ紹介) ・チャリティBOX

②ホームページの充実

インターネットによる情報発信を強化するため、区社協が関わる事業の案内をホームページ上に掲載し、訪問者・ボランティア活動者の増加に努めました。

<http://www.mediawars.ne.jp/~fukusi08/>

(8) 研修事業

①地域福祉活動実践交流会の開催

地域福祉の一層の充実と発展に向けて活動していくために、社会福祉協議会と民生児童委員との連携がこれまで以上に重要だとして、学区社会福祉協議会と民生児童委員の共催で交流会を実施しました。

「地域福祉の推進のための学区社協と民協の連携・協働について」をテーマに、前半は、学区社協と民協が連携している取組の事例報告を各学区社協から行いました。後半のグループワークでは、学区ごとに分かれ、困りごとや相談を受けたり、発見した場合の対応や今後、学区社協と民協の連携が一層必要だと思われる場面、地域で起こっている現状やそれに対する関わり等、参加者がそれぞれの活動の中で経験された内容を主に意見交換を行いました。参加者は78名でした。

開催年月日	場所	内 容
平成27年8月6日(木)	アスニー山科	テーマ:「地域福祉の推進のための学区社協と民協の連携・協働について」 ・事例報告 各学区社協 ・活動交流(学区ごとに意見交流)

②役員研修会の開催

国や京都市の動向を踏まえながら、身近な地域福祉活動に焦点をあて、住民主体による福祉課題に対し、事業を進めていくために「福祉をめぐる最新の動向」をテーマに理事・監事・顧問・参与・評議員を対象に地域福祉活動について考える役員研修会を実施しました。

開催年月日	場所	内 容
平成26年12月8日(月)	区社協	テーマ:「高齢者を取り巻く状況と介護保険制度」 講師:京都市保健福祉局長寿福祉課 新総合事業担当課長 中村典子 氏

③健康すこやか学級事業「介護予防研修会」の開催

学区社協が取り組む健康すこやか学級の充実のため研修会を開催しました。開催にあたり、平成26年10月に京都市社会福祉協議会と京都市老人福祉施設協議会との間で締結された「社会福祉施設の地域貢献・社会貢献の促進に関する協定」に基づき、山科区内の京都市老人福祉施設協議会加入施設に、専門的・技術的支援として協力をいただきました。

後半のグループワークでは、すこやか学級の運営上の課題、介護予防の取組やレクリエーションの企画について、市老協加入施設職員を交えて意見交換を行いました。参加者は29名でした。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 3 月 18 日 (金)	区社協	1. 健康すこやか学級について 2. 京都市老人福祉施設協議会との社会福祉施設の 地域貢献・社会貢献の促進に関する協定について 3. お話「聞くだけで元気に！～傾聴の極意～」 特別養護老人ホーム山科苑 副施設長 岸田光彦 氏 4. 情報・意見交換

(9) 福祉関係団体事業への助成

福祉団体・福祉事業の推進を図るために、赤い羽根共同募金の配分金を財源として、福祉関係団体への助成を行いました。

福祉団体・福祉事業助成金一覧 (単位：円)

団体名	助成金額	団体名	助成金額
山科区老人クラブ連合会	60,000	山科区保育園協議会	60,000
山科区身体障害者団体連合会	70,000	山科区母子寡婦福祉会	48,000
山科区肢体障害者協会	59,000	山科区少年補導委員会	60,000
山科視覚障害児者協会	59,000	山科区子供会育成連絡協議会	40,000
聴覚障害者協会山科支部	59,000	山科区遺族会連合会	48,000
中途失聴・難聴者協会山科支部	59,000	社会を明るくする運動 山科区実行委員会	80,000
山科区身体障害児者父母の会	35,000	ふれあいやましな実行委員会	150,000
手をつなぐ育成会山科支部	80,000		
		15 団体 合計	967,000

3 学区社会福祉協議会支援事業

①学区重点目標及び地域福祉推進モデル事業の推進

学区社協重点目標の推進に向けて、各学区の進捗を把握し、共有しました。地域福祉推進モデル事業は、小野学区での取組を推進しました。

学区社協重点目標

学区	重点目標
勸修	・社協の担い手づくり。 ・高齢化に伴う、健康すこやかサロンの充実 (毎月第 1~4 土曜日) ・災害ボランティアの人材育成 (啓発、研修、訓練の実施)
山階	・各自治会 (町内会) に社会福祉協議会、福祉対策部会の確立に取り組みます。
鏡山	・これからの学区社協活動の担い手づくり、人づくりに取り組みます。 ・学区社協活動の理解を深めるため広報に力を入れて取り組みます。
音羽	・向い三軒両隣による要配慮者の見守り活動の充実に取り組みます。 ・誰もが集えるフリースペースの拡充に取り組みます。 ・健康すこやか学級の回数を増やします。 ・担い手を増やすように努めます。
安朱	・学区住民がどなたでも来られるよう、居場所を 1ヶ所から 3ヶ所に増やします。 ・若い世代が活動できる機会、様々な世代が参加できる機会を増やします。
陵ヶ岡	・きめ細やかな絆づくりによる安心安全の街づくりを進めます。
大宅	・担い手づくりに取り組みます。 ・学区民が気軽に集える居場所づくりを開設します。
山階南	・「絆ひろば」の回数を増やし、誰もが気軽に集える居場所づくりを進めます。
百々	・福祉施設と協働し、居場所づくりに取り組みます。 ・学区社協の担い手づくりを進めます。
大塚	・地域福祉推進モデル事業をすすめ、ふれあいスペース絆の拡充に取り組みます。
小野	・熱い血の流れた福祉・自治づくりを進めます。 ・みんなで考える自治づくりを進めます。
音羽川	・健康すこやか学級に全町内から参加できるように、新たな拠点づくりをすすめます。 ・要援護者名簿の整備をすすめ、特に障害者の把握に努めます。
西野	・福祉施設と連携した居場所づくりを進めます。

②学区社協懇談会

地域福祉推進モデル学区に指定した小野学区において、平成 26 年度末に行ったアンケート調査を集計し、報告書にまとめました。その結果を踏まえ、学区社協、自治連、町内会長、福祉委員対象にアンケート報告懇談会を開催し、意見交換を行いました。参加者は 16 名でした。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 2 月 26 日 (金)	小野 小学校	1. 地域福祉推進モデル事業について 2. アンケート調査結果報告 3. 意見交換

③学区社協活動総合推進事業

区社会福祉協議会が助成事業として推進している学区社協事業の項目と、各学区への助成状況は以下のとおりです。これ以外にも、高齢者等を対象に学区民との交流を目的とした「ふれあいの集い」等学区独自の取組へも重点事業助成として助成を行いました。

i 学区社協活動総合推進事業

区分	項目	
学びあう活動	実態把握	①福祉台帳の整備、②福祉調査の実施、③住民福祉懇談会の開催
	理解促進	④実務者研修会の開催、⑤福祉講座の開催、⑥広報紙の発行
ふれあう活動	仲間づくり	⑦当事者同士の交流会の開催、⑧地域子育てサロンの開催
	地域との交流	⑨高齢者と子どもたちの世代間交流、⑩地域行事への参加促進、 ⑪福祉施設との交流
支えあう活動	⑫訪問ネットワーク活動、⑬寝具クリーニングサービス、⑭ふれあい配食サービス、 ⑮健康すこやか学級、⑯学区ボランティアセンターの設置、⑰地域の絆づくり支援事業	

ii 学区社会福祉協議会の活動への助成状況

	勤修	山階	鏡山	音羽	安朱	陵ヶ岡	大宅	山階南	百々	大塚	小野	音羽川	西野	助成率
実 態 把 握	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		11/13
理 解 促 進	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	12/13
学区社協広報紙の発行	○	○	○		○	○	○		○		○		○	9/13
仲 間 づ くり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12/13
地 域 と の 交 流	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13/13
訪 問 ネットワーク事業	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○		10/13
寝具クリーニングサービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13/13
ふれあい配食サービス		○					○	○						3/13
健康すこやか学級事業	36	42	10	10	60	14	6	25	21	11	12	18	26	13/13
学区ボランティアセンター	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	12/13

○は助成、健康すこやか学級事業は実施報告回数

iii 地域の絆づくり事業への助成状況

	勤修	山階	鏡山	音羽	安朱	陵ヶ岡	大宅	山階南	百々	大塚	小野	音羽川	西野	助成率
相 談 活 動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13/13
見 守 り 活 動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13/13
居 場 所 づ くり 活 動	○	○	○	○								○		5/13

4 ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター運営

①山科ボランティアセンター運営委員会

当事者団体、学区ボランティアセンター、ボランティア団体、社会福祉施設、学校等の関係者で組織する山科ボランティアセンター運営委員会を、企画委員会・生活福祉資金貸付調査委員会との合同会議で開催し、区内のボランティア活動の振興・支援方策とボランティアセンター事業のあり方についての検討を行いました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 25 日 (火)	区社協	1. 社協をめぐる動向について ①社協行動指針について ②地域あんしん支援員設置事業について ③生活支援サービス実態調査について 2. 山科区社協会長表彰審査について ①表彰ならびに感謝状 候補者審査について ②記念品について 3. 第 21 回山科社会福祉大会について 4. 平成 27 年度役員研修会について 5. 区ボランティアセンター事業について 6. 災害ボランティアセンター設置運営訓練について 7. 生活福祉資金貸付の動向について 8. 当面のスケジュール
平成 28 年 2 月 25 日 (木)	区社協	1. 第 3 期山科区地域福祉活動計画推進進捗について 2. 平成 28 年度事業計画 (素案) について 3. 生活福祉資金現況について 4. その他 5. 当面のスケジュール

②学区ボランティアセンター連絡会・研修会の充実

平成 26 年度の学区ボランティア活動関係者研修会を、地域福祉活動実践交流会として再編・強化し開催しました。

「地域福祉の推進のための学区社協と民協の連携・協働について」をテーマに、前半は、学区社協と民協が連携している取組の事例報告を各学区社協から行いました。後半のグループワークでは、学区ごとに分かれ、困りごとや相談を受けたり、発見した場合の対応や今後、学区社協と民協の連携が一層必要だと思われる場面、地域で起こっている現状やそれに対する関わり等、参加者がそれぞれの活動の中で経験された内容を主に意見交換を行いました。参加者は 78 名でした。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 6 日 (木)	アスニー山科	テーマ：「地域福祉の推進のための学区社協と民協の連携・協働について」 ・事例報告 各学区社協 ・活動交流 (学区ごとに意見交流)

③ボランティア活動に関する相談対応

福祉総合相談事業の中でも、ボランティア活動に関する相談について情報提供やコーディネートを行いました。

ボランティア活動相談・コーディネート件数 (4～3 月分)

ボランティア相談件数 合計	74 件	内訳⇒	ボランティアしたい	37 件
			ボランティアしてほしい	22 件
			その他	15 件

(2) ボランティア情報発信事業

①山科ボランティア情報の発行

機関誌「Be-Vo」に「山科区ボランティアセンターだより」を掲載し、全戸配布することで、区民へのボランティア活動の啓発に取り組みました。

②山科ボランティアガイドの発行

ボランティア活動の振興を目的に、ボランティア活動の基礎知識や、ボランティアグループの活動紹介等を掲載し、ボランティア基礎講座参加者を中心に配布しました。

③ホームページ等での情報発信の充実

区社協ホームページを活用して、各種ボランティア講座等の案内やボランティア募集等を行いました。また、必要に応じて、市民新聞区民版をはじめ、新聞等のマスコミ機関を通じた住民への情報発信や、学区社協の協力のもと広報物の回覧等を行いました。

(3) 人材養成事業

①ボランティア活動基礎講座の開催

ボランティア活動の基礎知識等についての講義と、ボランティアとして活動している方からの活動紹介を行う講座を開催しました。受講者は24名、ボランティアグループ連絡会加入団体からの参加者は6名でした。またボランティア活動につながるようボランティア活動体験デイを設定しました。5団体が6日設定し、延べ7名が4団体で体験しました。

開催にあたり、山科中央老人福祉センターと山科老人デイサービスセンターにも協力を依頼しました。

ボランティア活動基礎講座 〈定員 30名〉

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 27 年 7 月 31 日 (金)	区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・お話：「ボランティアの基礎知識」 講師：南 多恵子 氏 (京都光華女子大学 講師) ・ボランティア体験デイ説明 ・ボランティアグループ活動紹介 「山科のボランティアグループ活動・市民活動 ～こんな魅力・やりがいがいっぱい!～」 ・ボランティア団体への質問コーナー 	24名

ボランティア活動体験デイ

団体名	開催日	場所	内容	参加
わの会	8月20日(木)	山科保健センター	デイケア	0名
京都市要約筆記サークルかたつむり	9月6日(日)	山科身体障害者会館	定例会	2名
あそび隊	9月20日(日)	山科中央公園	レクリエーション	1名
京都市手話学習会みみずく山科支部	昼の部 8/19 (水) 夜の部 8/20 (木)	山科身体障害者会館	定例会	2名
京都生協くらしの助け合いの会	10月7日(水)	山科総合福祉会館	定例会	2名

②視覚障害者ボランティア入門講座の開催

視覚障害者ボランティア入門講座を、山科身体障害者福祉会館が主催、区社協が共催し、視覚障害者協会の協力で開催しました。盲導犬利用当事者も講師として参加するなど新たな取組がありました。受講者12名、述べ34名でした。

視覚障害者ボランティア入門講座 (全3回) 〈定員 10名〉

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 27 年 6 月 20 日 (土)	身障会館	<ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者としての体験談と、街で視覚障害者をみかけた時にどのような声かけ、お手伝いをしてもらえたら嬉しいのかについて講義 ・点字の歴史、点字の基礎「あいうえお」等の50音の打ち方、点字器による文字記入等 	8名
平成 27 年 6 月 27 日 (土)	身障会館	<ul style="list-style-type: none"> ・手引き歩行DVD鑑賞、手引きについてのレクチャー ・盲導犬利用の移動について(当事者からの講演) ・アイマスク着用にて利用者相互での手引き歩行体験(階段・館外) ・前回に続いて点字の練習 	7名
平成 27 年 7 月 4 日 (土)	身障会館	<ul style="list-style-type: none"> ・点字名刺の作成 ・日常生活・身近なところに見られる点字について ・視覚障害者に関わるボランティア活動のお知らせ ・終了証受渡し 	7名

③やましなふれあい手話講座の開催

手話講座を、区社協主催、山科身体障害者福祉会館と共催し、聴覚障害者協会山科支部と手話学習会みみずく山科支部の協力で開催しました。手話を学びながら、聴覚障害者との交流を深めました。昼の部・夜の部あわせて32名、述べ174名の受講者がありました。(昼・夜の部—合計12回)

ふれあい手話講座 昼の部 (全6回) <定員 15名>

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 1 月 20 日 (水)	区社協	講座① 名前	16 名
平成 28 年 1 月 27 日 (水)	区社協	講座② 数字	14 名
平成 28 年 2 月 3 日 (水)	区社協	講座③ 家族・仕事	15 名
平成 28 年 2 月 10 日 (水)	区社協	講座④ 趣味	16 名
平成 28 年 2 月 17 日 (水)	身障会館	講義「聞こえない人の暮らしについて」 講師：京都市聴覚障害者協会山科支部	15 名
平成 28 年 2 月 24 日 (水)	身障会館	講座⑤ 交流会	14 名

ふれあい手話講座 夜の部 (全6回) <定員 15名>

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 1 月 14 日 (木)	区社協	講座① 名前	15 名
平成 28 年 1 月 21 日 (木)	区社協	講座② 数字	14 名
平成 28 年 1 月 28 日 (木)	区社協	講座③ 家族・仕事	13 名
平成 28 年 2 月 4 日 (木)	区社協	講座④ 趣味	14 名
平成 28 年 2 月 18 日 (木)	身障会館	講義「聞こえない人の暮らしについて」 講師：京都市聴覚障害者協会山科支部	14 名
平成 28 年 2 月 25 日 (木)	身障会館	講座⑤ 交流会	14 名

④やましな要約筆記ボランティア入門講座の開催

中途失聴者・難聴者への理解を深める要約筆記入門講座を、区社協主催、山科身体障害者福祉会館と共催し、中途失聴者・難聴者協会山科支部と要約筆記サークルかたつむりの協力で開催しました。京都市主催の要約筆記者養成講座受講へのきっかけと位置づけ、要約筆記について学ぶとともに、難聴者との交流を深めました。受講者は 31 名、述べ 57 名でした。

要約筆記ボランティア入門講座 (全2回) <定員 30名>

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 2 月 6 日 (土)	区社協	要約筆記の概要 聴覚障害に関する基礎知識 要約筆記の三原則 (よみやすく書く技術) 京都市中途失聴・難聴者協会会員 体験発表 筆談・ノートテイク 実技体験	31 名
平成 28 年 2 月 13 日 (土)	区社協	要約筆記の三原則 (正しく、速く書く技術) 話しことばの特徴と短く書く技術 実技体験 交流会	26 名

⑤知的ハンディのある人たちを支えるボランティア入門講座の開催

知的ハンディのある人たちとの交流及び理解促進、さらに支援する人材育成を目的として講座を開催しました。区内の福祉施設、ボランティア・当事者団体 (8 施設・団体) の協力のもと、実習とふりかえり、活動先紹介等を盛り込みました。受講者は 17 名、述べ 34 名でした。

知的ハンディのある人たちを支えるボランティア入門講座 (全4回) <定員 30名>

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 2 月 20 日 (土)	区社協	テーマ：「ボランティアの基礎知識」 講義：浅田将之 氏 (西陣会 常務理事) ボランティア体験レポート 実習先紹介 (各施設・団体からの内容紹介)	17 名
平成 28 年 2 月 23 日 (火) ～ 平成 28 年 3 月 11 日 (金)	施設 団体	「現場でのボランティア活動」施設・団体でのボランティア体験 ※期間中 2 回程度 (できれば違う団体にて活動)	5ヶ所 10 名
平成 28 年 3 月 12 日 (土)	区社協	「これでできる！ボランティア ～体験をはじめの一步に～」 ※ふりかえりと活動紹介	7 名

⑥地域福祉・ボランティア活動カレッジ（市社協との共催）

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 2 月 26 日（金）	ひとまち交流館	基調報告：「介護保険制度の改正と今後の活動の方向性」 学区社協からの実践報告： 「気軽に集える居場所づくりの実践」 中京区 銅駝社会福祉協議会 「ちょっとした困りごとを支援する活動」 山科区 陵ヶ岡学区社会福祉協議会 グループディスカッション

⑦京都手をつなぐ育成会 合同研修事業の開催

知的ハンディのある人が地域で自立生活を実現するためのテーマを取り上げて公開学習会を開催しました。今回は、その人の個性と障がい特性を理解した上で、個別に住まいと生活を提案し、暮らしを総合的に支えていく実践報告をいただきました。京都手をつなぐ育成会の会員を中心に 37 名の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 31 日（月）	区社協	講演：「地域で誰もが いきいきと暮らすには」 講師：桜井基生 氏（知的障害者支援事業所 七 所長）

（４）福祉教育・ボランティア学習事業

①中高生の福祉体験事業（山科ユースアクション）の実施

中高生に夏休みを利用した 3～5 日間の福祉体験の機会を提供し、「福祉やボランティア活動への関心を持つきっかけづくり」「地域の福祉施設、またその利用者について理解することで地域の生活課題を知る」「地域活動やボランティア活動、またそれに関わる方たちの思いを理解する」ことを目的に山科青少年活動センターと共催で実施しました。

体験プログラムとして、（１）地域活動コース、（２）福祉施設コースの 2 つを設定し、（２）福祉施設体験コースを 1) 障害者施設 2) 高齢者施設 3) 児童施設 の 3 つの種別に分けました。

総勢 24 名（内訳：中学生 18 名、高校生 6 名）の参加があり、実施期間を 2 つに分け、区内 16 ヶ所の福祉施設で福祉体験を行いました。事前研修は大雨警報が発令されたため中止しましたが、事後研修では体験を振り返り、グループごとに壁新聞を作成しました。参加者の体験感想文を集約し、感想文集を発行しました。

山科ユースアクション 2015

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 7 月 17 日（金）	青少年活動センター	学習（事前研修） 全体オリエンテーション 活動先別オリエンテーション →大雨警報発令のため中止
A 日程：7 月 21 日（火）～7 月 24 日（金） B 日程：7 月 27 日（月）～7 月 30 日（木） （期間中 3～4 日間）	各活動先	体験 ・地域活動コース （地域活動ボランティア・フリースペース） ・施設福祉コース （障害者施設・高齢者施設・児童施設）
平成 27 年 8 月 4 日（火）	青少年活動センター	交流（事後研修） 活動の振り返り・ 修了証授与

体験先施設と参加者数

施設名	参加者数	施設名	参加者数
やましな学園	1	山科保育園	2
勸修老人デイサービスセンター	1	こぼと保育園	2
洛和デイセンター音羽	2	陵ヶ岡保育園	1
花山児童館	1	柳辻保育園	6
西野山保育園	1	さくら保育園	1
なかとみ保育園	2	ももの木学園	2
永興小金塚保育園	2	合計	24

②青少年のボランティア活動への支援

大学や学生サークル、専門学校に、各種ボランティア講座の情報を発信しました。

③中学生の学習支援を通じた福祉教育・ボランティア学習の推進

勸修中学校区こどものサポートプロジェクトに参画し、学習支援を通して、地域の多様な大人が関わり、学校と連携し、地域と専門職の協働による包括的なサポートで「子ども達の地域での育ち」をトータルに支えています。

また、安祥寺中学校の学習支援の立ち上げ時にボランティア紹介等で協力しました。

(5) 活動支援事業

①ボランティア活動資材の整備及び貸出

学校から、福祉教育やボランティア学習で使用する車いすやアイマスク等貸出の依頼に対応しました。また、区民への車いすの貸出も行いました。

ボランティア活動資材・会議室等貸出件数 (4~3月分)

活動資材	貸出件数	活動資材	貸出件数
車いす	67件	マイク・アンプ	2件
アイマスク	1件	スピーカー	0件
プロジェクター	0件	点字器	0件
スクリーン	0件	ビデオテープ	0件
ビデオデッキ	0件	図書	0件
OHP、略字表	1件	貸出総数	71件

会議室等貸出	件数
ボランティアルーム	290件
会議室	63件
印刷機	232件

②福祉の保険スマイルの普及

ボランティア活動中の偶発的な事故について補償する「ボランティア保険」、「福祉行事保険」、「まごころワイド（福祉事業者総合補償制度）」の加入を促進しました。

福祉の保険スマイル加入人数 (4~3月分)

保険種類	件数	加入人数
ボランティア保険	232件	2,754名
福祉行事保険	289件	11,189名
まごころワイド	22件	

③山科ボランティアグループ連絡会への支援

山科区内で活動するボランティアグループで結成する山科ボランティアグループ連絡会では、連絡会加入団体のメンバーが会議を行い、互いの情報交換・ネットワークづくりを図るとともに、各種ボランティア講座の企画・運営や、研修会を実施しました。

また、ボランティアグループ連絡会のクリアファイルを作成し、ぐるっとふれ愛まちフェスタ in 山科等でボランティア活動やグループ紹介等の啓発活動を行います。連絡会加入団体に対しては、年間を通じて会議室やボランティア室の利用等活動推進に協力しています。

i ボランティアグループ連絡会会議

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 4 月 13 日 (月)	区社協	1. 平成 27 年度ボランティア関連年間事業計画概要について 2. ボランティア基礎講座について 3. ボランティアグループ連絡会研修会について 4. その他 5. 当面のスケジュール
平成 27 年 6 月 29 日 (月)	区社協	1. ボランティア基礎講座について 2. ボランティアグループ連絡会研修会について 3. 京都市総合防災訓練について 4. ぐるっとふれ愛まちフェスタについて 5. その他 6. 当面のスケジュール

平成 27 年 10 月 5 日 (月)	区社協	1. ボランティア基礎講座 振り返りについて 2. ボランティアグループ連絡会研修会 (認知症あんしんサポーター養成講座) 振り返りについて 3. ぐるっとふれ愛まちフェスタについて 4. その他 ①公益信託京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金について ②12月ボランティアグループ連絡会について 5. 当面のスケジュール
平成 27 年 12 月 21 日 (月)	区社協	1. ぐるっとふれ愛まちフェスタ in 山科の振り返りについて 2. 平成 27 年度上半期事業報告について 3. 平成 28 年度山科ボランティアグループ連絡会について 4. 当面のスケジュール
平成 28 年 2 月 8 日 (月)	区社協	1. 平成 28 年度山科ボランティアグループ連絡会について 2. その他 ①広報紙 Be-Vo30 号について 3. 当面のスケジュール

ii ボランティアグループ連絡会研修会

研修内容は連絡会において協議し、要望のあった認知症あんしんサポーター養成講座としました。ボランティアグループ連絡会 8 団体から 9 名の参加がありました。

山科中央老人福祉センターと山科老人デイサービスセンターにも協力を依頼し利用者やボランティア、また日常生活自立支援事業の生活支援員からも 16 名の参加がありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 27 年 8 月 24 日 (月)	区社協	認知症あんしんサポーター養成講座

④ボランティア団体活動助成

ボランティアグループへの支援として、赤い羽根共同募金の配分金を財源に、連絡会加入団体を対象とした活動助成を実施しました。財務委員会の審査により、申請があった 9 団体すべてに助成金を交付しました。また助成金の使途の明確化と活動の活性化を目的に、助成金交付説明会を開催しました。

ボランティア団体活動助成一覧 (単位：円)

団体名	助成内容	助成金額
山科タンタンおもちゃライブラリー	広報紙「タンタン通信」発行	30,000
わの会	会報誌作成費用の一部	10,000
沢ネット	ボランティア保険料	10,000
京都市要約筆記サークル「かたつむり」	要約技術研鑽のための研修	30,000
京都生協くらしの助け合いの会	総会・例会等諸会議の運営費用	10,000
特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば	広報紙「コッペパン」発行	30,000
親子支援ネットワーク♪あんだんて♪	広報紙「あんだんて通信」発行	30,000
地域活動ボランティアあそび隊	月 1 回の定例活動に際しての費用・企画「太陽が丘への遠足」費用	10,000
京都市手話学習会「みみずく」山科支部	聴覚障害や手話に理解を深める研修の開催に関する費用	30,000
9 団体 合計		190,000

(6) 災害対策事業

①山科区防災会議への参画

山科区役所区民部総務課が主管する山科区防災会議に参画しました。

開催年月日	場所	内容
平成 27 年 6 月 18 日 (木)	区役所	・京都市総合防災訓練について ・山科区防災会議規約改正について ・その他

②山科区災害ボランティアセンターの設置運営訓練の実施

災害時に災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう、京都市総合防災訓練（山科区）の一環として、マニュアルに沿った設置運営訓練を実施しました。

本年度は、民生委員、学区社協等と連携した在宅障がい者のニーズ把握訓練を行うことで、障がい者と地域のつながりを結び、強めることを目指しました。

開催年月日	場所	内容
平成 27 年 8 月 30 日(日)	青少年 活動センター	・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ・要配慮者訪問訓練

③災害時要配慮者支援に関する啓発・研修事業の実施

山科区災害ボランティアセンター設置運営訓練において、民生委員、学区社協等と連携した在宅障がい者のニーズ把握訓練を行いました。

④京都市（山科区）総合防災訓練への参画

山科区災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施しました。

(7) 知恵シルバーセンター事業の普及啓発

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして普及啓発に努めました。

5 セーフティネット事業

(1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

①広報及びネットワークの強化

関係機関、団体等へ事業の周知を進めました。福祉事務所との連絡調整を一本化し、申請者の緊急度に応じて支援できるよう連携を図りました。また、生活支援員確保のために学区社協の協力を得て、随時説明を行いました。

②利用者支援の充実

利用者支援では、専門機関や福祉サービス事業所との連携はもとより、利用者の地域生活における人とのつながりづくりも積極的に進めました。利用者の地域を担当とする民生委員や老人福祉員に対し支援の共有を行うなど、利用者本人を支える多様な支援者が、利用者だけでなく支援者同士もつながるよう意識的に事業を進めました。

i 契約件数

	高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	山科区計
昨年度末実動件数	36 件	12 件	8 件	2 件	58 件
新規契約件数	17 件	2 件	6 件	3 件	29 件
解約件数	13 件	3 件	1 件	0 件	17 件
3 月末実動件数	42 件	11 件	12 件	5 件	70 件

ii 上半期延べ支援回数 1,886 回

iii 月別相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規相談	3	0	6	3	2	9	4	0	4	2	1	4	38
新規契約	4	1	2	2	2	3	1	3	3	2	3	3	29
解約	1	6	0	0	2	2	2	0	1	1	1	1	17

③人材の育成

i 生活支援員の養成

市社協にて生活支援員養成研修が行われ、山科区からは延べ13名の参加があり、新たに11名の生活支援員が加わりました。山科区の生活支援員は67名の登録があり、そのうち39名がケースを担当し活動していますが、年度末に登録更新があり、定年等により20名減少し、47名となっています。

ii 山科区生活支援員交流会

生活支援員のスキルアップと利用者への理解を促進するために交流会を実施しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成27年6月18日(木)	区社協	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度日常生活自立支援事業報告について 個人情報漏洩事故防止について 意見交換 	15名
平成27年10月5日(月)	区社協	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度日常生活自立支援事業進捗の報告について 活動費の改定について 暴風警報発令時の活動について 事例検討 意見交換 	18名
平成28年1月28日(木)	区社協	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度日常生活自立支援事業進捗の報告について 事例検討 意見交換 	18名

iii 生活支援員向け情報紙の発行

生活支援員の意識向上と支援員活動のフォローアップを目的に情報紙を発行しました。支援員活動に必要な情報を定期的に伝えて利用者支援を充実させること、また支援員同士がつながり、お互いに情報交流できるよう努めました。

情報紙「支援員通信 やましな・ぶどう通信」

発行時期	号	内 容
平成27年5月	第11号	<ul style="list-style-type: none"> 事務局職員・担当職員の紹介 第1回生活支援員交流会の案内 年金・生活保護費の支給日について 編集後記
平成27年9月	第12号	<ul style="list-style-type: none"> 警報等発令時の支援について 第1回生活支援員交流会の報告 第2回生活支援員交流会の案内 消せる筆記用具の使用禁止について
平成27年11月	第13号	<ul style="list-style-type: none"> 年末年始の支援について 支援記録の訂正印について 第2回生活支援員交流会の報告 第3回生活支援員交流会の案内
平成28年3月	第14号	<ul style="list-style-type: none"> 全国社会福祉協議会の報告について 第3回生活支援員交流会の報告 支援記録の訂正印について

(2) 生活福祉資金貸付事業の推進

①生活福祉資金貸付調査委員会の開催

開催年月日	場所	内 容
平成27年6月6日(金)	区社協	<ol style="list-style-type: none"> 平成26年度生活福祉資金の相談・申請件数及び償還対応件数について 審議案件1件(延滞利子免除申請の審議)

②相談機能の強化

山科区における貸付相談件数は、年々増加していましたが、平成27年度は貸付相談件数449件(平成26年度506件)、貸付申請件数268件(平成26年度293件)となり、前年度より減少しました。

京都市域の貸付相談件数は2,683件、貸付申請件数は1,796件であり、山科区の割合は貸付相談の16.7%、貸付申請の14.6%を占めています。

i 貸付相談・申請件数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

		資金の種類	相談件数	申請件数
総合支援資金	生活支援費		16 件	4 件
	住宅入居費		0 件	0 件
	一時生活再建費		1 件	1 件
臨時特例つなぎ資金			0 件	0 件
福祉資金	生業費		3 件	0 件
	技能習得費		3 件	0 件
	住宅		2 件	0 件
	福祉用具購入		0 件	0 件
	障害者自動車購入費		0 件	0 件
	中国残留邦人等国民年金追納費		0 件	0 件
	療養費		6 件	2 件
	介護等		1 件	1 件
	災害援護費		0 件	0 件
	冠婚葬祭費		0 件	0 件
	転宅費		16 件	2 件
	技能修得支度費		0 件	0 件
	一般福祉費		42 件	19 件
	緊急小口資金（災害特例 0 件）		24 件	5 件
教育支援資金	教育支援費		168 件	117 件
	就学支援費		167 件	117 件
不動産担保型生活資金			0 件	0 件
その他			0 件	0 件
合計			449 件	268 件

ii 生活福祉資金貸付事業説明会

学区民協の要望に応じて、生活福祉資金貸付事業の制度の歴史や概要、現状、実務等について具体的に知っていただく説明会を開催しました。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 1 月 27 日（水）	音羽小学校	音羽学区民生児童委員へ事業説明会

③償還支援の強化

償還では、滞納初期の対応に重点を置き、電話相談、訪問による生活状況の確認等を行い、借受人が計画的に償還できるように支援しています。

償還対応件数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

		借受人	連帯保証人	民生委員	事務局	合計
●償還相談 合計		364	7	75	358	804
① 償還再開	償還再開	45		5	56	106
	分割申請	66		1	3	70
	猶予申請	1				1
	払込票送付	30	4		13	47
	その他（問合せ等）	183	1	27	5	216
② 償還完了	一括償還	7			2	9
	延滞利子免除申請					
③ 電話不在					156	156
④ 連絡不能、行方不明					25	25
⑤ 文書通知					88	88
⑥ 訪問			1	20		21
⑦ その他	転居	30	1	20	6	57
	死亡			2	2	4
	自己破産	2			2	4

③住居確保給付金支給事業への協力

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ来所者	4	4	4	0	0	0	1	0	0	0	6	5	24
新規申請者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
受給者数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4

6 ネットワーク支援事業

(1) ネットワーク支援事業

①福祉に関する総合相談事業の実施

地域福祉活動を推進する方策として、また、地域の身近な相談窓口として住民の信頼を高めるために福祉総合相談事業を実施し、身近な相談機関として相談機能の充実強化を進めました。303件の相談がありました。

②個別支援の強化

社協ネットワークを活かして地域に出向き、地域の困り事や個別の生活課題のある人に対し、必要な関係機関とつながりながら相談対応を進めました。

i 新規相談対応件数（平成28年3月31日現在）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	2	5	5	3	3	8	3	4	3	1	3	1	41
(内継続件数)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(2)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(7)

ii 相談の詳細内訳

分類	内容	狭間	非申請	複合問題	その他	合計
高齢者		1	5	0	12	18
障がい者		0	1	0	5	6
成人		1	2	1	10	14
子ども		0	0	1	2	3
合計		2	8	2	29	41

【狭間】制度等の狭間、【非申請】何らかの理由でサービスにつながない、【複合問題】、【その他】

③認知症の本人と家族の支援体制づくり

区内で実施されている認知症カフェの情報を、チラシの配架やポスターの掲示等により周知しました。

④生活支援サービスの実態把握と新しい助け合い活動や担い手養成の取組

平成27年4月施行の改正介護保険法において、予防給付として提供されていた訪問介護と通所介護が市町村事業に移行され、多様な主体による多様なサービスを提供可能とする「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」が、平成29年度までに実施されることになりました。

京都市が新しい総合事業の基盤整備を進める基礎資料とする目的で京都市社協に委託した、地域で高齢者の生活を支えるサービスを提供する事業者・団体の現状のサービス提供状況や運営上の課題、新しい総合事業への参入意向などについての実態調査に区社協も協力し、山科区内で既に訪問型・通所型の活動実績がある団体69件について把握するとともに、関係づくりを進めました。

分類	内容	社会福祉法人	NPO法人	公益法人	地縁団体	ボラ団体	合計
訪問型			1		12	1	14
通所型		13		1	18	23	55
合計		13	1	1	30	24	69

(2) 支援のためのネットワーク強化・充実

①各関係機関ネットワークへの参画【再掲】

②個別支援のための社会資源ネットワーク

総合相談、見守り企業連携、チャレンジ就労体験等に関わる事になった対象者については、随時関係機関の間で情報の共有を行い、多角的に見守り、関わられるよう繋ぐことに努めました。

また、生活支援サービスの実態把握や事業の新規立上げ等の情報で提供いただいた内容やニーズは、局内での共有を図り、随時総合相談時に役立てられるように努めました。

③若年性認知症の方の地域生活支援

地域での居場所活動や総合相談にて若年性認知症の方を把握した場合、地域包括支援センター、長寿すこやかセンター等と連携を取り、その方のニーズへの対応に努めました。

④京都市社協受託「チャレンジ就労体験事業」への協力

稼働能力はあるがすぐには就労が困難であったり、社会参加の機会が必要な生活保護受給者及び生活困窮者に対して、施設や企業での軽作業等就労体験の機会を提供し、その経験を通じて自立への課題克服および経済的な自立等にむけたステップアップへと促すことを目的として、平成 25 年度から京都市社協が受託し、区社協が協力しています。平成 27 年度は、7 名が参加され、うち新規開始は 5 名でした。

また、体験受入事業所と福祉事務所保護課、京都市保健福祉局地域福祉課、京都市社協、山科区社協で交流会を開催し、事業のよりよい展開について意見交換を重ねました。

i 受入事業所と体験の状況

No.	体験受入事業所	社会生活自立 目標型	就労自立 目標型
1	山科老人デイサービスセンター	2名	
2	山科中央老人福祉センター		
3	山科老人福祉センター		
4	山階児童館		
5	百々児童館	1名	
6	小野児童館		
7	洛和会ヘルスケアシステム 洛和グループホーム山科小山	2名	
8	社会福祉法人京都身体障害者福祉センター 京都市山科障害者授産所		
9	社会福祉法人積慶園山科積慶園		
10	社会福祉法人レモングラスそらの木	2名	
合計		7名	0名

・社会生活自立目標型 6ヶ月：終了者 1名

・体験中止：4名（理由：辞退 3名、障害者施策就労支援を利用 1名）

ii 「チャレンジ就労体験事業」体験受入事業所交流会

開催年月日	場所	内容	参加
平成 27 年 12 月 4 日(金)	区社協	・事業概要と現況報告 ・意見交換	17名

⑤京都市社協協定締結「高齢者等見守り活動企業連携事業」への協力

高齢者等の見守り活動を重層的に充実させる目的で、「高齢者等見守り活動企業連携事業」において、平成 25 年度から京都市社協が京滋ヤクルト販売、近畿中央ヤクルト販売、京都生活協同組合と協定を結び、区社協が協力しています。平成 27 年度の対応件数は 2 件でした。

協定企業	件数
京滋ヤクルト販売	0
近畿中央ヤクルト販売	0（山科区はエリア外）
京都生活協同組合	2
合計	2

⑥「地域あんしん支援員設置事業」の試行

「京（みやこ）・地域福祉推進指針 2014」で位置づけられ京都市が創設した事業で、社会的孤立等の状態にあって福祉的な支援が必要であるにもかかわらず、既存の制度や地域だけでは対応が難しい福祉的課題を抱える者に対し、行政等の関係機関・地域との連携のもと、寄り添いながら福祉的な支援につなげる「地域あんしん支援員」の試行設置が市社協に委託され、平成 27 年度からは山科区にも配置されました。

要支援者ケース選定会議で決定された 7 ケースについて予備調査を行い、支援会議で協議した支援方針に基づき、関係部署と連携を取りながら寄り添い支援を進めました。うち 1 ケースで生活状況が改善され、支援を終了しました。

支援経過	実施日	1	2	3	4	5	6	7
ケース選定会議	平成27年7月3日(金)	○	○	○				
		↓	↓	↓				
支援会議	平成27年8月18日(火)	●	●	●				
		↓	↓	↓				
ケース選定会議	平成27年10月29日(木)				○	○	○	
		↓	↓	↓	↓	↓	↓	
支援会議	平成27年12月22日(火)				●	●	●	
		↓	↓	↓	↓	↓	↓	
定期支援会議	平成28年2月2日(火)	●	●	終結	●	●	●	
ケース選定会議	平成28年2月2日(火)							○
		↓	↓		↓	↓	↓	↓

※支援内容 ○→：予備調査 ●→：寄り添い支援

(生活課題の分類)

ごみ堆積	×→△			×→△	×		
利用拒否	×		×→○	×		×	
就労		×→△					
孤立				×			
困窮		×→△			×		
その他			×→○				

※課題達成度 ○：解決 △：改善 ×：未着手